

令和2年度
琉球大学大学院農学研究科（修士課程）
学生募集要項

一般選抜（第3次学生募集）

出願期間	令和2年1月27日（月）～2月3日（月）
筆記試験	令和2年3月2日（月）
口頭試問	
合格発表	令和2年3月13日（金）

社会人特別選抜（第3次学生募集）

出願期間	令和2年1月27日（月）～2月3日（月）
小論文	令和2年3月2日（月）
面接	
合格発表	令和2年3月13日（金）

社会人特別選抜（現職高等学校教員）（第3次学生募集）

出願期間	令和2年1月27日（月）～2月3日（月）
小論文	令和2年3月2日（月）
面接	
合格発表	令和2年3月13日（金）

■ 琉球大学大学院農学研究科の目的

(研究科の目的)

農学研究科は、「21世紀の地球化の時代に求められる、環境と調和した生物資源の安定生産と持続的利用を通じて豊かな社会の構築を目指す新たな農学」を基本理念とし、沖縄の亜熱帯島嶼性という地理的・自然的環境及び歴史的・文化的特性に基づいた持続的食料生産、環境保全、資源・エネルギー利用及び長寿・健康に関する教育と研究を深化させ、高度専門職業人の人材養成と、その養成を通じて地域社会並びに国際社会に貢献することを教育・研究上の目的とする。

■ 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

農学分野の技術者及び研究者として国内外で活躍することを志し、学習意欲と創造力のある次のような人を求めています。

亜熱帯農学を志向し、持続的農業と農林環境、地域環境の保全と修復及び生命科学や生物資源の開発利用の分野における幅広い体系的な基礎理論と実践的応用力、並びに研究開発能力を修得し、高度専門職業人として地域社会と国際社会に貢献したい人。

■ 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

広範な知識と深化した学識の涵養を図り、研究能力及び高度の専門的職業を担う卓越した能力を培うために、授業科目をその内容により基礎教育科目、専門科目及び応用展開科目に区分し、以下の3つの方針に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成しています。

- ① 亜熱帯地域の課題解決へ向けた新たな農学教育の科目の整備
- ② 広範な知識・技能と応用展開力の修得と農学の専門的知識の修得をもたらす体系的なコースワークの充実
- ③ 高度専門職業人の効果的な養成と幅広い分野の複数の教員による組織的指導体制の確立

以上の考え方に基づき、1年次に基礎教育科目を履修し、亜熱帯農学の役割を広い視野から理解し、倫理的な判断と問題解決に対する責任を認識する能力を修得します。1年次から2年次には各コースが提供する専門科目を履修し、専門分野に関する高度な専門的知識を修得し、高度専門職業人としての指導的能力、実践的開発能力を身に付けます。専門展開科目（特別研究）を履修することで、課題解決のため研究の立案・計画・実施・評価などを自律的に行い、自らが行う研究の意義と役割を客観的に説明する能力を身に付けます。

■ 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

亜熱帯農学専攻では、環境に調和した生物資源の安定的生産や利用について独創的に取り組み、亜熱帯農学で地域・国際社会に貢献するため、また広範な知識と深化した専門性を併せ持つ高度専門職業人となるため、以下に掲げる専門的知識と能力を修得します。

- ① 適切に行動できる倫理性を身に付け、亜熱帯農学の役割を広い視野から理解し、問題解決に対する責任を認識する能力
- ② 課題解決のため研究の立案・計画・実施・評価などを自律的に行い、自らが行う研究の意義と役割を客観的に説明する能力

また、各コースでは次に掲げる指導的能力及び実践的開発能力を身に付けます。

○ 地域農学コース

- ① 地域農林畜産業の振興に携わる指導的能力
- ② 地域資源循環システムに基づく持続的農業生産の推進によって、農と社会との共生を構築できる実践的開発能力

○ 農林環境科学コース

- ① 生物資源の機能特性解明を通じ、生物や環境関連分野で活躍する指導的能力
- ② 生物多様性の理論を通じて、豊かな環境の保全と管理に貢献できる実践的開発能力

○ 地域農業工学コース

- ① 農村環境整備と緑・土・水資源の保全と改善に貢献できる指導的能力
- ② 情報技術を応用し、地域環境保全や防災、農産物の流通・加工に関わる農業の新エネルギー利用システムの理論を通じて、問題解決できる実践的開発能力

○ 生物資源科学コース

- ① 生物資源関連産業、発酵産業及び健康・食品産業の振興・発展に貢献できる指導的能力
- ② 亜熱帯生物資源の機能開発と成分構造解析を通じて、食品機能の開発能力、並びに地域食材の栄養的特性解明を通じて長寿社会の構築に貢献できる実践的開発能力

令和 2 年 度
琉球大学大学院農学研究科(修士課程) 学生募集要項
(社会人特別選抜を含む)

1. 出願資格

(1) 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- ① 大学を卒業した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 104 条 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び令和 2 年 3 月 31 日までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 2 年 3 月 31 日までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者(昭和 28 年文部省告示第 5 号参照)
- ⑨ 令和 2 年 3 月 31 日までに大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
- ⑩ 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑪ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

(2) ①社会人特別選抜

上記(1)の出願資格の各号のいずれかに該当する者で、研究機関、教育機関、行政機関、企業(自営業を含む)等に勤務しており、入学後もその身分を有する者又は生涯学習をめざす社会人で、志願する専攻分野に研究意欲のある者。ただし、勤務経験 4 年以上の者

②社会人特別選抜(現職高等学校教員)

上記(1)の出願資格の各号のいずれかに該当する者で、現在、沖縄県内の現職高等学校教員として勤務し、入学後もその身分を有し、志願する専攻分野に研究意欲のある者。ただし、3年以上の教職経験(臨時任用期間を含む)を有し、原則として45歳以下の者

注:大学院設置基準第14条特例(昼夜開講制)による教育の実施(通常の授業時間帯及び通常の授業時間帯以外の特定の時間又は時期に授業を行う)を希望する者

(3) 事前審査

上記(1)の出願資格⑨、⑩により出願する者は、出願資格の事前審査を受ける必要があります。

事前審査書類提出期間	令和2年1月7日(火)～令和2年1月14日(火)
事前審査書類提出場所	農学部学務係

※出願資格審査の結果は、出願受付期間の開始日までに本人宛に通知します。

◎ 必要書類

出願資格⑨により出願する場合
1 事前審査申請書 2 成績証明書(最新のもの) 3 在学証明書 4 履修手引き(授業内容一覧及び卒業要件が記載されたもの)

出願資格⑩により出願する場合
1 事前審査申請書 2 最終出身学校卒業・修了証明書 3 最終出身学校成績証明書 4 研究・教育歴証明書(研究・教育内容要旨を含む) なお、参考資料として、研究業績を説明する資料や特許・実用新案取得書類、技能検定認定証明書等を添付してもよい。 ※「外国において学校教育における15年の課程を修了した者で、日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間(おおむね1年以上とする)研究に従事しており、令和2年3月31日までに22歳に達する者」を含む。

〈注意事項〉

※⑨の出願資格により入学した場合、当人の学部学生としての学籍上の身分は、退学となります。

したがって、大学の学部を卒業していることを要件と定められている種々の国家試験等の資格試験は受験できなくなるので注意してください。

※一般選抜に出願予定の者で、現在有職であるか、若しくは入学後有職となることが予定されている者は、必ず事前に志望専攻の予定指導教員と面談を行い、修学条件等について十分確認のうえ出願してください。

2. 専攻, コース, 分野及び募集人員

専攻名	コース名	分野名	募集人員
亜熱帯 農学	地域農学	農林経済科学, 植物生産科学 動物生産科学, 農林共生科学	若干名 (社会人特別選抜含む)
	農林環境科学	植物機能科学, 動物機能科学 森林環境科学, 生態環境科学	
	地域農業工学	バイオシステム工学, 農村環境・ 基盤整備学, 農村環境保全・防災学	
	生物資源科学	生物機能開発学, 食品機能科学 発酵・生命科学, 健康栄養科学	

3. 入学者選抜方法

(1) 一般選抜

事前提出された外国語スコア, 筆記試験, 口頭試問の結果並びに出身大学で作成された成績証明書等を総合して行います。

① 筆記試験

コース	専門科目
地域農学	志望分野の受験科目の中から 1科目を選択(別表参照)
農林環境科学	
地域農業工学	
生物資源科学	

注:受験する専門科目を志願票に明記してください。

② 口頭試問 志願するコース別に行います。

(2) ①社会人特別選抜

小論文, 面接, 成績証明書等を総合して行います。

②社会人特別選抜(現職高等学校教員)

小論文, 面接, 所属学校長の推薦書, 成績証明書等を総合して行います。

4. 試験の期日及び場所

(1) 一般選抜

期 日	科 目	時 間	場 所
令和2年3月2日(月)	専 門 科 目	9:30 ~ 11:30	琉 球 大 学 共 通 教 育 棟 3 号 館
	口 頭 試 問	13:00~	

(2) 社会人特別選抜(①, ②ともに)

期 日	科 目	時 間	場 所
令和2年3月2日(月)	小 論 文	9:30 ~ 11:30	琉 球 大 学 共 通 教 育 棟 3 号 館
	面 接	13:00~	

※農学部棟の改修工事のため、令和2年度農学研究科入学者選抜試験試験(第3次学生募集)では、会場が共通教育棟3号館となります。会場案内図(P10)を記載しておりますので、ご確認下さい。また、下記の琉球大学農学部ホームページにおいても、会場案内図の確認ができますので、併せてご確認下さい。

※台風の接近が予想され、入学試験の実施を延期する等、措置を講ずる場合は、琉球大学農学部ホームページでお知らせしますので、各自で確認をすること。
(<http://www.agr.u-ryukyu.ac.jp/category/info>)

5. 出願期間

令和2年1月27日(月) ~ 2月3日(月) (土, 日を除く)

- (1) 受付時間は、9:00~16:30 (ただし、12:00~13:00 は受付けない)
- (2) 郵送の場合は必ず書留速達とし、2月3日(月) 17時までに必着のこと。なお、受付期間内に到着しない場合は、受理しないので郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。
- (3) 受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

6. 出願手続

出願者は、下記の書類を一括取り揃え、出願書類提出先に持参又は郵送してください。郵送の場合は必ず書留とし、封筒の表に「大学院入学願書」と朱書してください。

(1) 一般選抜

a	入学願書	本学所定の用紙を用いること。
b	受験票・写真票	本学所定の用紙を用いること。
c	卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学長(学部長)が作成したもの。
d	成績証明書	出身大学長(学部長)が作成したもの。

e	写真3葉	出願前3カ月以内に撮影した上半身(縦4cm×横3cm)とし、受験票、写真票、入学願書に貼付してください。
f	受験許可書	現在、他の大学院に在学中の者又は在職中の者は、その長の受験許可書を必要とします。:様式随意
g	返信用封筒	郵送により願書を提出する者は、受験票送付用の返信用封筒(長3号封筒 タテ 23cm×ヨコ 12cm)に 374 円切手(速達)を貼付し、郵便番号、住所、氏名を明記の上、提出してください。
h	検定料納付証明書(大学用)	<p>1) 検定料 : 30,000円(別添「検定料振込書」を使用してください。)</p> <p>検定料振込期間 令和2年1月27日(月)～2月3日(月)</p> <p>※特例措置対象者(7ページ参照)は、検定料を振り込まず、申請手続を行ってください。</p> <p>2) 振込方法</p> <p>ア. 検定料振込書の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。 《依頼日、入学志願者氏名(フリガナ)、住所、振込先(枠内に○印)》</p> <p>イ. 必ず金融機関(銀行等)の窓口で振り込み、ATM(現金自動預払機)は使用しないでください。</p> <p>ウ. 振込手数料については、志願者本人負担となります。</p> <p>エ. 金融機関窓口で「検定料納付証明書(大学用)」を受け取る際は、取扱金融機関収納印を確認してください。</p> <p>オ. 「検定料納付証明書(大学用)」は<u>出願書類に同封して提出</u>してください。</p> <p>※この募集要項添付の「検定料振込書」が使用できない場合は、各金融機関備付の振込依頼書で振り込んでください。 振込依頼人氏名は、先に募集区分(農学研究科は461)、次に志願者本人氏名としてください。</p> <p>例) 461 ダイカク タロウ</p> <p>振込先口座、金額及び募集区分は「検定料振込書」で確認してください。 受領書の写しを「検定料納付証明書(大学用)」の代わりに提出してください。</p> <p>3) 留意事項</p> <p>ア. 検定料が振り込まれていない場合、「検定料納付証明書(大学用)」が出願書類に同封されていない場合、「検定料納付証明書(大学用)」に取扱金融機関収納印がない場合は、出願書類を受理しません。</p> <p>イ. 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>① 検定料を振り込んだものの、出願しなかった場合(出願書類を</p>

h	検定料納付証明書(大学用)	<p>提出しないまま出願期間が終了した場合や、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合)</p> <p>②誤って検定料を二重に振り込んだ場合</p> <p>③特例措置対象者(7ページ参照)が検定料を振り込んだ場合 ※上記①, ②に該当する場合は、本募集要項添付の「返還金払戻請求書」に必要事項を記入し、払い戻しの理由を選択、氏名欄へ押印のうえ、「検定料納付証明書(大学用)」を同封して下記へ送付してください(封筒には、「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください)。 (返還は銀行振込で行います。保護者名義口座の場合は、必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。返還には、請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。)</p> <p>送付期限:令和2年3月31日(火) 送付先:〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 国立大学法人琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL:098-895-8058</p> <p>※上記③に該当する場合は、返還手続き(8ページ参照)を行ってください。</p>
i	志願者整理票・宛名票	<p>本学所定の志願者整理票・宛名票に記入の上、提出してください。</p>
j	外国語スコア証明書の写し	<p>下記のいずれかの外国語スコア証明書の写し(いずれのスコアも出願書類提出時から2年以内のものに限る。)を提出してください。 ※試験スコアの正式な証明書の取得には時間がかかる事に留意すること。試験当日、外国語の筆記試験は行わない。なお、GTEC CTE L(College Test Edition)については、琉球大学での再受験者の場合、スコア証明書の発行が行われない場合もあるため、受験前に教育支援課に確認をしてください。</p> <p>ア)GTEC CTE LR(College Test Edition) (ただし、琉球大学で受験したものに限る。)</p> <p>イ)GTEC(4技能)又はGTEC-LR(2技能) (ただし、GTEC CTE(Corporate Test Edition), GTEC CBT(高校生対象)及びGTEC(中・高校生対象)は不可)</p> <p>ウ)TOEIC Listening & Reading テスト (TOEIC L&R) (ただし、下記オを除く TOEIC Listening & Reading IP テストは不可)</p> <p>エ)TOEFL iBT テスト又は TOEFL PBT テスト (ただし、下記オを除く TOEFL ITP テストは不可)</p> <p>オ)TOEFL ITP テスト又は TOEIC Listening & Reading IP テスト (ただし、琉球大学で受験したものに限る。)</p> <p>カ)IELTS (ただし、外国人留学生に限る。)</p>

		<p>※上記内容について不明な点は、下記へ問い合わせください。</p> <p>国立大学法人琉球大学農学部学務係 Tel 098-895-8738(直通)</p>
k	入国査証(Visa)の写し、住民票の写し	日本国内に居住している外国人の志願者は、上記の出願書類のほかに、入国査証(Visa)の写し、住民票の写し(市区町村長発行。記載事項の内容が省略されていないもの。)を提出してください。
l	「入国カード」の写し又は旅券(パスポート)等の写し	日本国内に居住していない外国人の志願者は、「入国カード」の写し又は旅券(パスポート)等の写しを提出してください。

(2) ①社会人特別選抜

志願者は願書提出日までに必ず志望専攻の予定指導教員との面談を行い、修学条件等について十分確認のうえ出願してください。なお、社会人特別選抜を希望する者は、次の書類と「(1)一般選抜のa~l(jは除く)」を含め提出してください。

- (ア) 志願理由書(本学所定の用紙を用いること。)
- (イ) 研究計画書(本学所定の用紙を用いること。)
- (ウ) 研究業績報告書(業績の有る者。本学所定の用紙を用いること。)

②社会人特別選抜(現職高等学校教員)

志願者は願書提出日までに必ず志望専攻の予定指導教員との面談を行い、修学条件等について十分確認のうえ出願してください。なお、社会人特別選抜(現職高等学校教員)を希望する者は、次の書類と、「(1)一般選抜のa~l(jは除く)」及び「(2)①社会人特別選抜の(ア)~(ウ)」を含め提出してください。

○所属学校長の推薦書【所属学校の長が作成し、厳封したもの(様式任意)】

7. 東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震又は令和元年台風15号、19号により被災した令和2年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について

琉球大学では、令和2年度の大学院入学者選抜に関して、被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特別措置を実施することとしましたのでお知らせします。

- (1) 特例措置の対象
令和2年度大学院入試
- (2) 措置内容
検定料の免除:30,000円
- (3) 免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類
① 東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震又は令和元年台風15号、19号における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	

ア. 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	り災証明書
イ. 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
② 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

(4) 申請の方法

本学所定の様式(検定料免除申請書)に、り災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。

なお、申請する場合は、「検定料」を振り込まないでください。

また、すでに納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式(返還金払戻請求書)に、り災証明書等を添えて農学部学務係へ申請してください。

申請後、検定料を返還します。

※返還金払戻請求書の提出期限は、令和2年3月31日(火)までとします。

提出先: 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
 国立大学法人琉球大学 農学部学務係 電話 098-895-8738

8. 長期履修制度

長期履修制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限で修了することが困難である場合、希望により修業年限を延長し、かつ、その間の授業料の負担を軽減することができます。

長期履修制度を希望する者は、事前に希望する指導教員と相談の上、申請してください。

9. 出願書類の提出及び請求先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
 国立大学法人琉球大学農学部学務係
 TEL 098-895-8738(直通) FAX 098-895-8734

10. 合格者発表

令和2年3月13日(金)13時30分(予定)農学部仮設プレハブ棟玄関ロビーに掲示し、琉球大学農学部WEBサイト(<http://www.agr.u-ryukyu.ac.jp>)にも掲載します。
 また、合格者へは郵送にて通知します。

11. 入学手続

(1) 入学手続期間

入学手続期間等については、入学手続案内を令和2年3月に送付します。

(2) 入学料及び授業料

入学料は銀行振込です。詳細は入学手続案内で通知します。

入学料 282,000円 (予定額)

授業料(前期分) 267,900円(年額535,800円) (予定額)

※社会人特別選抜（現職高等学校教員）については，2年間の授業料を免除する。
ただし，長期履修の場合は，計画的な教育課程の修業年限とする。

(注) ①上記については予定額であり，入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は，改定時から新たな金額が適用されます。

②授業料については，本人の申し出により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

③琉球大学には入学料の免除又は徴収猶予，あるいは授業料の全額又は半額を免除する制度があります。対象者については，合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。また，所定の免除申請手続きを行うことにより，免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間，入学料又は授業料の徴収を猶予します。

12. 入学試験過去問題(専門科目)の開示方法

受験希望者の方のために，農学研究科において前年度の入試問題を閲覧公開しています(郵送はいたしません)。

閲覧時間：9:00～17:00（ただし，12:00～13:00は除く）

閲覧場所：農学部学務係(農学部仮設プレハブ棟1階)

閲覧等に必要なもの：身分証明書等

閲覧方法：複写(コピー等)や写真撮影(携帯電話を含む)を禁止する。手書き及びパソコンやスマートフォンによる入力認める。

※ただし，前年度に受験者がいなかった科目の過去問題はありません。閲覧可能な受験分野・受験科目については下記へ問い合わせください。また，著作権に対する配慮から問題文の一部を省略している場合があります。

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学農学部学務係

TEL 098-895-8738(直通) FAX 098-895-8734

E-mail nggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

13. 留意事項

- (1) 出願手続後は，いかなる理由があっても出願事項の変更は認めない。
- (2) 学生募集要項を郵送で請求する場合は，返信用封筒(角型2号33cm×24cm)に210円切手(速達希望者は500円切手)を貼付し，宛先(郵便番号，住所，氏名)を明記の上，同封し上記9.に請求してください。

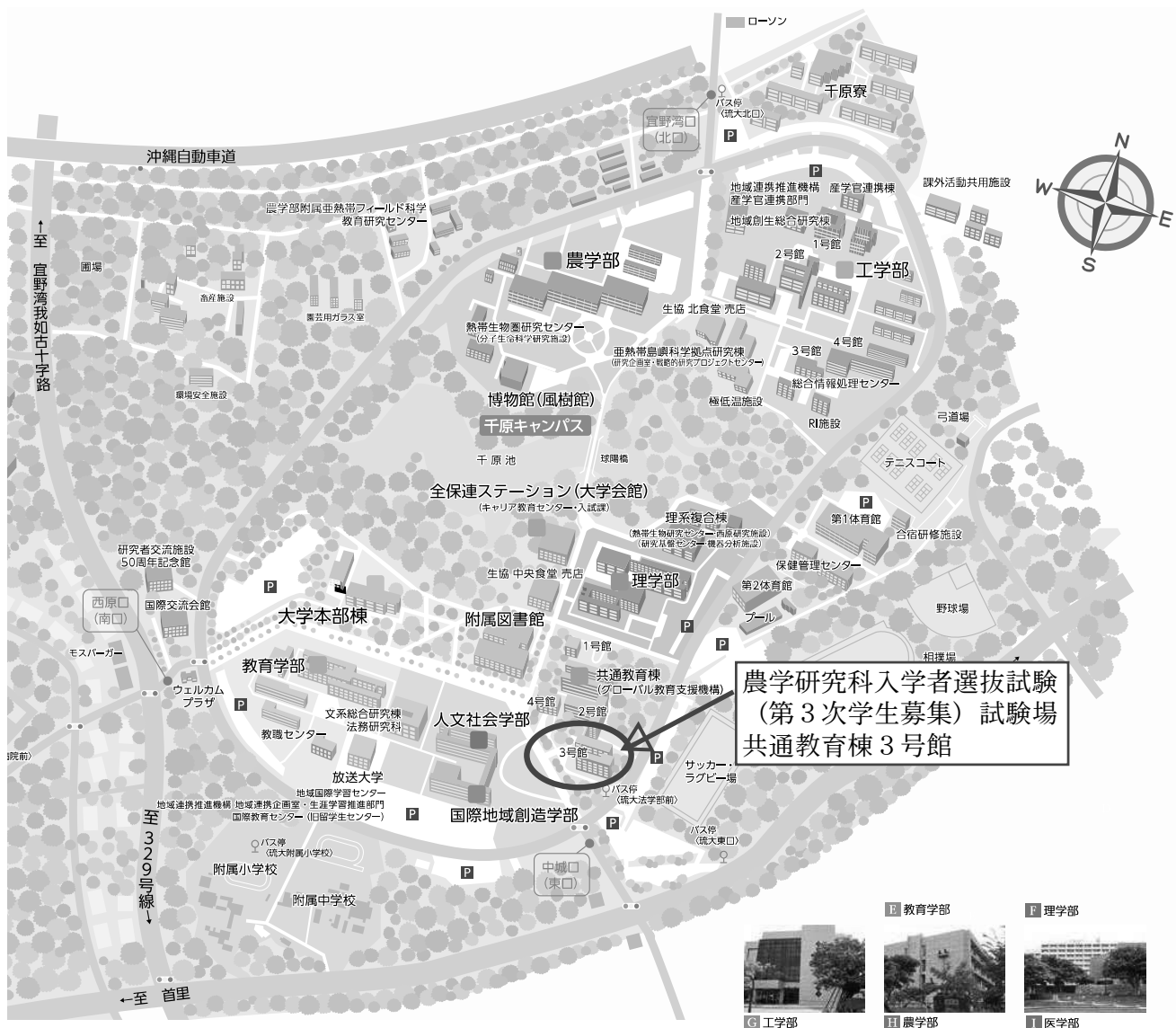
14. 個人情報の取扱いについて

本研究科が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続きに関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続き者の氏名等を入学後の学籍管理等、修学に関わる業務で利用します。
- (3) 入学手続き者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入管理に関わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除及び奨学生選考など、修学支援に関わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できないように統計処理したデータを、入学者選抜に関する調査・研究などに利用します。

※ 本研究科が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者の同意を得ることなく他の目的で利用、又は第三者に提供することはありません。

【農学研究科入学者選抜試験(第3次学生募集)試験場】



令和2年度琉球大学大学院農学研究科専攻・コース及び分野別受験科目（専門科目）表

令和2年度募集

専攻名	コース名	分野名	受験科目（専門科目）
亜 熱 帯 農 学	地域農学	農林経済科学	農業経済学，農産物流通学，森林経営計画学，森林政策学
		植物生産科学	園芸学，植物育種学
		動物生産科学	家畜栄養学，家畜衛生学
		農林共生科学	植物共生学，作物栽培環境学，里山環境学
	農林環境科学	植物機能科学	作物学，植物病理学
		動物機能科学	生体機構学，動物育種学，家畜繁殖学，家畜生理学
		森林環境科学	造林学（注1），森林工学（注2），熱帯植物学
		生態環境科学	昆虫学，土壌学及び植物栄養肥料学
	地域農業工学	バイオシステム工学	農産施設工学，農業機械学
		農村環境・基盤整備学	水利施設工学，農業水利学（注3）
		農村環境保全・防災学	農村農地整備学及び農地水環境学，土地環境保全・防災学
	生物資源科学	生物機能開発学	糖鎖科学，林産科学，多糖類機能化学（注4），遺伝子工学，生理活性物質学，遺伝資源応用学
		食品機能科学	栄養生化学，食品化学
		発酵・生命科学	応用微生物学，発酵微生物学，食品生物工学
		健康栄養科学	食品分析学，栄養学，食品学・栄養教育

（注1）森林生態学，林木育種学，森林保護学を含む。

（注2）砂防学，森林土木学，森林水文学を含む。

（注3）各科目には，応用力学1問，水理学1問が含まれる。

（注4）植物生理学を含む。

農学研究科研究内容紹介

○各研究室のURLは、前半部分の「<http://www.agr.u-ryukyu.ac.jp/labos/>」を省略している。(一部除く)

地域農学コース

教員名	研究室名	研究内容紹介	研究室のURL
教授 内藤 重之	農業経済学研究室	農業経済学、農業市場学。食料・農産物の地産地消と食育に関する研究、農業・農村の6次産業化、都市農村交流に関する研究。	agecon
教授 大田 伊久雄	森林政策学研究室	森林・林業・木材産業に関する社会科学的研究（法制度・経済政策・歴史・自然保護・山村問題）。国有林および森林資源の公的管理問題。欧米をはじめとする諸外国における森林管理の比較分析。森林認証制度の現状と課題。	rinsei
准教授 木島 真志	森林資源管理・経済学研究室	森林経済学・自然資源経済学、数理モデル・シミュレーションモデルを用いた経済・政策分析、森林管理最適化。	konoshim
准教授 杉村 泰彦	農業経済学研究室	農業経済学、農業政策学、農業市場学。農業の市場制度、農産物流通政策を中心に、食品廃棄物問題や食品産業と地域農業の連携などのテーマに取り組んでいる。	agecon
教授 嬉野 健次	花卉園芸学研究室	園芸学・造園学、育種学。花卉園芸作物の遠縁交雑育種に関する研究、斑入り植物の発現に関する研究。	ureshinok
准教授 Md. Mizanur Rahim Khan	野菜園芸学研究室	園芸学、育種学。野菜の育種に関する研究、ナスの雄性不稔に関する研究。	khan
助教 仲村 一郎	作物開発学研究室	育種学、作物学・雑草学。稲の耐塩性に関する研究、ハイブリッドライスの育成および物質生産に関する研究。	nakamura i
教授 佐野 文子	家畜衛生学研究室	病原真菌学。イルカの日和見および高度病原性真菌症の診断、治療、疫学および動物の真菌症。	eisei
准教授 伊村 嘉美	家畜栄養学研究室	沖縄県で発生する未利用資源である泡盛粕やトウフ粕等の養豚用飼料としての有効利用に関する研究。	yimura
准教授 赤嶺 光	植物共生学研究室	芝生の生理・生態的特性の研究、道路雑草の防除に関する研究、緑地が人の心身の健康に与える影響、園芸福祉に関する研究。	akamineh
教授 Md. Amzad Hossain	作物栽培環境学研究室	Field crop production, Plant Ecology and Physiology, Weed science and herbal plant science, Soil, fertilizer and herbicide management, 環境保全型農業、ウコン品種開発・商品開発に関する研究。	amzad
准教授 陳 碧霞	里山環境学研究室	森林ツーリズム・レクリエーション学、文化的景観、風水林、ホームガーデン、アグロフォレストリーに関する研究。	fukugitree
准教授 渡辺 信	マングローブ&森林科学研究室（熱帯生物圏研究センター所属）	西表島を中心として、世界に分布するマングローブを対象として研究を進めている。近年では次世代シーケンサーを活用し、世界の主要なマングローブ樹種の網羅的機能遺伝子発現プロファイルデータベースの作成や（科研基盤B）、ドローンを用いた台風攪乱からのマングローブ生態系修復過程の研究を進めている（挑戦的萌芽研究）。	http://www.tbc.u-ryukyu.ac.jp/ja/

農林環境科学コース

教員名	研究室名	研究内容紹介	研究室のURL
教授 川満 芳信	作物学研究室	作物の光合成とバイオマス生産、バイオエネルギー、沖縄型植物工場に関する研究を行っている。	kawamitu
教授 田場 聡	植物病理学研究室	未知病害の原因解明や拮抗微生物および未利用植物を活用した環境配慮型防除技術の開発を行っており、特に熱帯作物類の病害や線虫病（土壌線虫病、マツ材線虫病）を研究対象としている。	phytopathology
准教授 関根 健太郎	植物病理学研究室	熱帯作物の植物ウイルス病害の防除を目指した診断・防除技術の開発を目指し、植物とウイルス間の相互作用の基礎的知見を分子生物学的手法を駆使して探求している。	phytopathology
准教授 諏訪 竜一	作物学研究室	植物生産能のソース・シンク関係、環境ストレスに対する植物応答および沖縄県在来の作物栽培の研究を行っている。	suwa
教授 及川 卓郎	動物遺伝育種学研究室	動物の能力は、温湿度の上昇に伴い低下するので、地球の温暖化及び動物生産性の向上から耐暑性育種が急務である。暑熱環境の安定性、持続性において勝る沖縄だけで可能な場の科学を追及している。	oikawa
教授 建本 秀樹	家畜繁殖学研究室	沖縄在来豚アグー及びウシの生殖細胞における凍結保存の研究、また、体外でのブタやウシの正常受精卵作出に関わる卵胞卵の体外成熟ならびに体外受精に関する研究を行っている。	anim_reprod
准教授 金野 俊洋	動物機能形態学研究室	組織学、発生生物学に関する研究、特に胚着床・胎盤形成における子宮と胚の相互作用についての研究を行なっている。	konno
准教授 佐々木 慎二	家畜生理学研究室	黒毛和種で発生する胎子や子牛死亡など遺伝的不良形質の原因をゲノム科学の手法を用いて特定するとともに、これらの発症の生理的メカニズムを解明し、農家が安心して黒毛和種を生産できるよう研究を行っている。	kuroge
助教 長嶺 樹	家畜生理学研究室	未利用資源を活用した自家製育成用飼料を用いた子ヤギの育成と成長特性の解明に関する研究、採食量の調節メカニズムの解明に関する研究を行っている。	yagi-ken
教授 谷口 真吾	造林学研究室	亜熱帯樹木の開花結実、種子生産における繁殖資源の配分などの繁殖生理や種子散布などの繁殖生態に関する基礎研究、および亜熱帯林の天然更新や針広混交林化による生物多様性の高い森林再生に関する応用研究を行っている。	zourin
准教授 松本 一穂	造林学研究室	樹木の生理生態や森林生態系の物質やエネルギーの循環に関する研究を行っている。	zourin2
准教授 Bam H. N. Razafindrabe	流域森林保全学研究室	森林を含む流域内での気象、土砂災害等の自然的条件ばかりでなく、経済、文化等の社会的条件による複合的な食料、水、健康等への危機に対する総合リスクマネジメントに関する研究を行っている。	bam
教授 鬼頭 誠	耕地利用学研究室	持続的で環境保全型な食料生産技術の確立に関する研究について植物生理・生態学をベースに行っている。	kitoum
准教授 金城 和俊	土壌学研究室	土壌有機物の性質や機能に関する研究および農耕地の土壌改良、森林地の炭素循環、土壌生成の研究も行っている。	soil
教授 辻 瑞樹	昆虫学研究室	社会性昆虫類の進化、行動、生態に関する基礎研究、および稀少昆虫、外来種を題材にした保全生態学的研究を行っている。	konken
教授 立田 晴記	昆虫学研究室	昆虫類、その他野生動物の形態、行動、進化、保全に関する基礎研究、および農業害虫、侵入種の拡散経路の解明と効率的駆除に向けた応用研究を行っている。	konken
教授 梶田 忠	熱帯植物学研究室（熱帯生物圏研究センター所属）	マングローブ植物やマメ科植物などの熱帯植物を対象に、系統、分類、進化、生態に関する基礎研究、および、保全生物学的研究を行っている。	http://nesseiken.info/

地域農業工学コース

教員名	研究室名	研究内容紹介	研究室のURL
教授 平良 英三	農産施設工学研究室	近赤外分光法（NIR）によるサトウキビの品質評価やマンゴー栽培支援のシステム開発など光を利用した農産物の品質情報収集とその解析・評価技術の研究・開発を行っている。	tairae
准教授 鹿内 健志	農業機械学・農業情報工学研究室	ICT（情報通信技術）を活用し、沖縄や亜熱帯地域の農業生産情報を収集・解析することで、農家の暗黙知（知恵・技能）を形式知（数値・文字化）とし栽培管理の最適化を目指す研究。	shikanait
教授 酒井 一人	利水工学研究室	環境水文学、農業流域における物質循環の解析。	risui
准教授 瀬戸内 秀規	造構学研究室	基礎地盤を対象とした地盤材料の力学シミュレーション技術の開発。	setouchih
准教授 仲村 渠 将	利水工学研究室	シルト・粘土粒子の輸送現象に関する実験水理学的解析。	risui
教授 中村 真也	土地環境保全学研究室	土の強さの発現メカニズム、地すべりや斜面の安定度評価、土の侵食抑制、地域性を加味した農村や農地の整備等、土地の保全に関する研究を行っている。	lec
准教授 木村 匠	地域防災学研究室	農村地域の防災に関する研究を行っている。特に、土や堆積物の物性、浸透性および強度の特性を理解・解明することを目指している。	lec
助教 安元 純	島嶼水環境学研究室	陸と海が地下水を介して接している沿岸域の水環境の保全と農村環境保全を目標に、琉球石灰岩分布地域における地下水流動や物質輸送特性について研究を実施している。	nochi

生物資源科学コース

教員名	研究室名	研究内容紹介	研究室のURL
教授 金子 哲	糖鎖科学研究室	植物や海藻の細胞壁多糖を食品素材、化粧品素材、バイオ燃料等の様々な用途へ利用するための研究を行っている。特に用途開発の鍵となる糖加水分解酵素の探索や酵素の構造と機能について研究を行っている。	tousa
教授 高島 幸司	林産科学研究室	木質科学、応用きのこ学。沖縄地方の地域振興に寄与することを目的に特用林産物、特に亜熱帯性食用薬用きのこの生理・生態、栽培に関する研究を行っている。	ktakaba
教授 小西 照子	多糖類機能化学研究室	陸上植物や海藻から細胞壁多糖を抽出し、その構造を決定するとともに多糖類の生合成の仕組みや生物学的機能を明らかにする。さらに、多糖を産業利用する応用研究を行っている。	polysaccharide
准教授 福田 雅一	遺伝子工学研究室	ギンネム・オジギソウの持つミモシンと呼ばれる物質の合成や分解に関わる酵素・遺伝子、およびその物質が細胞・個体に与える影響等について調べます。	fukutam
准教授 石井 貴広	生物活性物質学研究室	天然物有機化学、創薬・農業化学。亜熱帯沖縄由来の未・低利用な生物資源より、新たな医薬品や農業等の開発に結びつく有用な天然生物活性物質（低分子有機化合物）の取得を目指している。	ishiit
教授 高良 健作	食品化学研究室	熱帯・亜熱帯の野菜や果物の食品機能性成分の評価や定量分析、活性物質の分離、構造解析、その他サトウキビの食品機能や安全性についても広く研究している。	foodchem
准教授 玉城 一	栄養生化学研究室	沖縄産食品素材の機能性成分の構造解析、構造 - 活性相関、機能性を生かした食品加工利用法の開発に関する研究。	tamakih
教授 外山 博英	発酵微生物学研究室	酢酸菌の生理学的特徴と代謝変換機構・耐熱性獲得機構の解析、黒麹菌と泡盛酵母の分子生物学的解析、ならびにピロロキノリンキノン (PQQ) の生合成機構の解析。	PQQ-Quinoprotein
教授 平良 東紀	応用微生物学研究室	応用微生物学および蛋白質工学。泡盛醸造に係わる微生物及びその酵素の研究、乳酸菌及びその増殖因子の研究、植物の生体防御蛋白質の構造と機能に関する研究を行っている。	oubi
准教授 橋 信二郎	微生物利用学研究室	沖縄の伝統発酵食品『とうふよう』製造に用いられる紅麹菌がつくる生理活性物質や酵素に関する研究、ならびにピロロキノリンキノン (PQQ) の生理機能解明に関する研究を行っている。	Biryō
准教授 水谷 治	発酵微生物学研究室	泡盛・焼酎醸造に用いられている黒麹菌の分子生物学研究に必要な技術基盤の開発と、それらを用いた応用育種を通して、泡盛・焼酎業界の発展や他産業への黒麹菌の有用活用法の創生を目指している。	PQQ-Quinoprotein
教授 和田 浩二	食品化学研究室	沖縄特産物を中心として亜熱帯食素材のフレーバー成分および機能性成分の分析や評価、またそれらの成分と加工法との相関や新たな加工利用について研究している。	foodchem
准教授 大西 竜子	栄養学研究室	食物中難消化性成分の消化管に対する生理的作用と、腸内細菌の代謝物を介したヒトの生活習慣病の予防・改善の可能性について、主にモデル動物を用いて研究を行っている。	ohnishi
准教授 宮城 一菜	食品・栄養指導研究室	島やサイ等の沖縄産農産物を中心にメニュー開発を行い、それらの官能評価や機能性成分分析について研究を行っている。さらに、これらの食材を活用して食育に繋がるような栄養指導も実施している。	k_miyagi
教授 屋 宏典	遺伝資源応用学研究室（熱帯生物圏研究センター所属）	亜熱帯生物の持つ有用遺伝子や有用物質を利活用して環境保全やヒトの健康促進に関する研究、特に“脂質”に関わる生理活性や遺伝子に焦点をあてた研究を行っている。	http://www.tbc.u-ryukyu.ac.jp/ja/
准教授 岩崎 公典	遺伝資源応用学研究室（熱帯生物圏研究センター所属）	亜熱帯生物の持つ遺伝資源を利活用したヒトの健康促進に関する研究を行っている。特にガンや肥満などの生活習慣病を改善できる有用生物資源の探索と、その機能解明に関する研究を進めている。	http://www.tbc.u-ryukyu.ac.jp/遺伝資源応用学分野

入学願書

貴大学農学研究科(修士課程)に入学志望に付、所定の書類を添え出願いたします。

令和 年 月 日

琉球大学長 殿

氏名

印

写真貼付

正面向き上半身脱帽
3カ月以内に撮影したもの

(縦4cm×横3cm)

選抜区分

1. 一般選抜 2. 社会人選抜
3. 社会人選抜(現職高等学校教員)
(該当事項を○で囲むこと)

志望コース名

志望分野名

コース

分野

受験科目

専門科目

氏名

生年月日

(ふりがな)

年 月 日生

本籍地

都道府県(都・道・府・県名のみ記入のこと。)

保護者等(世帯主)連絡先

氏名

職業

続柄

現住所

〒 TEL(携帯)
メールアドレス

本人への連絡先

〒 TEL(携帯)
メールアドレス

出願資格

昭和
平成 年 月
令和

大学

学部

学科(卒業・卒業見込)

事前出願資格審査結果(出願資格 有 : 出願資格 無)

備考 (1) 願書記入の際は、募集要項熟読のうえ、記入漏れのないようにすること。

(2) 履歴事項は、裏面に記入すること。

(3) 事前出願資格審査を受けた場合は、事前出願資格審査結果に「出願資格 有」に○を記入すること。

※印は記入しないこと。

履 歴 書

	年 月 日	事 項
学 歴 (高等学校卒業以上)	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
職 歴	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
賞 罰	. .	
	. .	

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

氏 名

印

令和2年度

琉球大学大学院農学研究科(修士課程)

写真票

受験番号	※	
ふりがな		性別
氏名		
志望コース	コース	
及び分野名	分野	
受験科目	専門科目	

写真貼付欄 入学願書と同一の 写真を貼ること (縦4cm×横3cm)	出身大学	※出席確認	
		大学 学部 学科 専攻	専門科目 口頭試問
	年 月(卒業・卒業見込)		

(注)※印以外の箇所は、志望者が記入すること。

令和2年度

琉球大学大学院農学研究科(修士課程)

受験票

受験番号	※	
ふりがな		性別
氏名		
志望コース	コース	
及び分野名	分野	
受験科目	専門科目	

受験心得 (1)試験開始15分前までに試験室に入室すること。 (2)試験開始後30分を経過してから試験室に到着した者は、受験させない。 (3)不正行為のあったものは、直ちに退場を命ずる。 (4)受験に際しては、本票を必ず持参すること。	写真貼付欄 入学願書と同一の 写真を貼ること (縦4cm×横3cm)
---	---

(注)※印以外の箇所は、志望者が記入すること。

(※切り離さないこと)

記入上の注意

- 「**検定料振込書**」の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。《依頼日，入学志願者氏名（フリガナ），住所，振込先（枠内に○印）》
- 必ず金融機関（銀行等）の窓口で振り込み，ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。
- 振込手数料については，志願者本人負担となります。
- 金融機関窓口で「検定料納付証明書（大学用）」を受け取る際は，取扱金融機関収納印を確認してください。
- 「検定料納付証明書（大学用）」は**出願書類に同封して提出**してください。

検 定 料 振 込 書

(振込前に志願者で切離し)

検定料納付証明書（大学用）

★出願書類に同封して提出下さい。

※依頼日	年 月 日
金額	¥30,000-
※振込先 <small>いずれかの銀行に○をする</small>	琉球銀行宜野湾支店（普通） 428711
	沖縄銀行我如古支店（普通） 1540366
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通） 0563358
	みずほ銀行那覇支店（普通） 1478859
※募集区分 (フリガナ)	461
※依頼人 (志願者) 氏名	
令和2年度 琉球大学 検定料 農学研究科	

振込金（兼手数料）領収書		手数料
※依頼日	年 月 日	
振込金額	¥30,000	円
※振込先 <small>いずれかの銀行に○をする</small>	琉球銀行宜野湾支店（普通） 428711	
	沖縄銀行我如古支店（普通） 1540366	
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通） 0563358	
	みずほ銀行那覇支店（普通） 1478859	
受取人 口座名	国立大学法人 琉球大学	
※依頼人 (志願者) 氏名		
備考	令和2年度 琉球大学 検定料 農学研究科	

(大学提出時に切離し)

上記のとおり領収しました



(取扱店→振込人→大学)

(取扱店→振込人)

振 込 依 頼 書

電信扱

※依頼日	年 月 日	振込指定	電信扱	手数料	
※振込先 <small>いずれかの銀行に○をする</small>	琉球銀行宜野湾支店（普通） 428711	金額	内訳	現金	¥30,000
	沖縄銀行我如古支店（普通） 1540366				
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通） 0563358				
	みずほ銀行那覇支店（普通） 1478859				
口座受取人	コクリツカ`イ`クホジ`ン リョクキョウカ`イ`ク 国立大学法人 琉球大学				
(志願者) 依頼人	※募集区分 461 ※フリガナ				
	※氏名				
備考	※(住所) (電話番号)				
	令和2年度 琉球大学 検定料 農学研究科 【納入期間】 令和2年1月20日(月)から 令和2年2月3日(月)まで				

取扱店へのお願い
○太枠内を打電して下さい。
○募集区分番号、フリガナの順に打電して下さい。

(振込時金融機関で切離し)

(取扱店用)



* 受験番号

令和 年 月 日

志 願 理 由 書

1. 志願者氏名 _____ 印

2. 志願理由 社会人特別選抜を志願する理由をできるだけ具体的に記入すること。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

* 印は記入しないこと。

(社会人特別選抜用)

令和2年度

琉球大学大学院農学研究科入学試験出願資格事前審査申請書

琉球大学大学院農学研究科の入学資格事前審査を受けたいので、下記のとおり申請します。

※出願資格該当事項を○で囲んでください。

出願資格		(1)－⑨		(1)－⑩	
フリガナ 氏名	印	現職			
生年月日 (年齢)		現住所			
志望コース		志望分野		希望指導教員	
学歴(高校卒業時から記入すること。)					
年	月	日	事 項		
年	月	日			
年	月	日			
年	月	日			
年	月	日			
年	月	日			
年	月	日			
年	月	日			
職 歴					
年	月	日	事 項		
年	月	日			
年	月	日			
年	月	日			
年	月	日			
年	月	日			
年	月	日			
年	月	日			
年	月	日			
研究・教育歴(研究・教育歴証明書を添付すること。)					
年	月	日	事 項		

検定料免除申請書

令和 年 月 日

国立大学法人
琉球大学長 殿

(請求者)

受付番号 (大学側で記入)

出願学部 (出願研究科)

志願者氏名

印

住 所

電 話

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、平成28年4月14日に発生した熊本地震、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震又は令和元年台風15号、19号において、下記のとおり被災しましたので、り災証明書等を添付の上、検定料の免除を申請します。

記

被災状況 (該当箇所にチェックしてください。)

- 全壊 大規模半壊 半壊 流出
学費負担者死亡又は行方不明
福島第一原子力発電所事故による避難区域等

返還金払戻請求書

国立大学法人
琉球大学長 殿

請求者

〒

住 所

フリガナ

氏 名

印

電話番号

私が令和 年 月 日に納付した検定料 円について、以下の理由により払戻を請求します。

- 誤納
- 出願辞退 ※受験辞退ではなく、出願しなかった方が対象です。
- 書類不備等による出願書類の不受理
- 東日本大震災において被災
- 熊本地震において被災
- 平成30年7月豪雨において被災
- 北海道胆振東部地震において被災
- 令和元年台風15号, 19号
- その他()

次の銀行口座へ振り込んでください。

フリガナ				保護者名義の 場合の続柄
口座名義				
取引金融機関名 本・支店名	銀行		支店	
預金種別	1 普通		2 当座	
口座番号	(店 番)	-	(口座番号)	

預金種別欄は、該当項目番号を○で囲んでください。

[注意]

- ※ 請求者は志願者本人としてください。
- ※ 保護者等、請求者以外の口座名義を指定する場合は、続柄も記入してください。
- ※ ゆうちょ銀行口座へ振り込を受ける場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が必要です。振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が分からない場合は、口座を開設したゆうちょ銀行へご確認ください。
- ※ 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。
- ※ 返還には請求書受理後2～3ヵ月程度かかります。

取扱金融機関収納印が押印された
検定料納付証明書(大学用)
をこの枠内に貼り付けのうえ、ご提出
ください。※払戻理由のうち、4. 東日本大震
災、5. 熊本地震、6. 平成30年7
月豪雨又は7. 北海道胆振東部
地震において被災を選択された
場合は貼り付け不要です。※各金融機関備付の振込依頼書
で振り込んだ場合は、受領書
を同封ください。送付先 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学財務部経理課収入・支出係
TEL:098-895-8058

受験番号	※
------	---

志願者整理票

楷書で枠からはみ出さないように記入してください。

受験番号	氏名 (左半分に姓、右半分に名、 上にふりがなをつけること)	性別	本籍 都道府県 (外国籍の場合は国籍)	出身学校の名称 (上にふりがなをつけること)
※				

宛名票

この宛名票は、合格通知及び入学に関する書類を送付する際に使用するものです。
枠からはみ出さないよう2枚すべてに郵便番号、住所、氏名を記入してください。

□□□—□□□□□	□□□—□□□□□
様	様
(※)	(※)

※印欄は記入しないこと。